



熊高祭2023 新時代スタート

～熊野化現象を巻き起こせ～

11月18日(土)19日(日)に熊高祭を行いました。4年ぶりに食物バザーや体育館での全体鑑賞、一般公開で多くの来場者を迎えるなど、コロナ前の形式に戻りました。17日(金)の前夜祭では、歌うま選手権とKM-1(漫才)があり、歌唱力と笑いで会場は大いに盛り上がりました。1日目の午前中は吹奏楽部、サポーターズリーダーの各クラブによる舞台発表の後、3年生と2年生のクラス舞台発表を全体鑑賞しました。午後からは一般の方を迎え、3年生の食物バザーや1年生が企画したインスタ映えスポットやお化け屋敷、ゲーム等のアトラクションでおもてなしができました。書道・美術・華道部に加え、書道・美術・英語の授業での制作物の展示は、非常に文化的で普段の活動の様子がよくわかるものでした。看護研究手話部が企画したハンドマッサージのコーナーは希望される方が多く、残念ながら施術を受けられない方も出るほど大盛況でした。茶道部の九十九茶会では準備していたお菓子がなくなるほど集客がありました。体育館では有志によるバンド演奏や弾き語り、ダンスがあり午前中の全体鑑賞とは異なる盛り上がりがありました。2日目は終日一般公開を行い、講堂で催された熊高市特設会場は大賑わいとなりました。体育館では音楽表現と社会文化研究選択生が普段の学習の



成果を発表しました。PTAのバザーでは、焼きそば・綿菓子・コーヒーの提供があり、熊高祭の食品メニューにバリエーションが増えました。図書館ではリ・ピースが小さな子どもたちに、紙芝居や絵本の読み聞かせを行いました。生徒会企画である『熊高生の主張』でラストを締めくくりました。天候に不安な部分もありましたが、全体鑑賞が可能となり忘れられていた一体感や多くの来校者と触れあうことで地域貢献の大切さを思い出すことができました。来場いただきました保護者や地域の方々には、ご協力いただき、本当にありがとうございました。



岩田幼稚園連携事業

11月1日(水) 岩田幼稚園との連携事業であるサツマイモの収穫を行いました。5月に園児と一緒に苗を植えた農業基礎(AI群)選択生が今回も協力し、ツルを切ったりシートをはがすなど、園児が掘りやすいようにサポートしました。年長組と年中組の58人の園児と幼稚園の保護者の方々が参加され、大きなサツマイモの収穫に驚きと喜びの声が響きました。収穫したサツマイモは、園児たちが自宅に持ち帰ったり、給食の献立にも使用されたようです。園児たちからお礼にいただいた手紙を文化祭や玄関ホールに掲示させていただき、連携事業が多くの方の目にとまりました。



古道歩き・遠足

11月2日(木) 1年生が古道歩きを行いました。今年のコースは、湯の峰王子から発心門王子までの赤城越(7.1km)に加え、熊野本宮大社の神域の入口とされる発心門王子～本宮大社へのコース(6.9km)に挑戦しました。天候にも恵まれ、各自の目標を達成することができました。前日のアセンブリーで河野先生からコースや歴史についての説明を聞いていたこともあり、それぞれに何かを感じながら歩けたのではないのでしょうか。たくさんの観光客の方々が訪れており、これからも世界遺産として登録が維持されていくことを願います。同日、2・3年生は遠足を行いました。3年生はUSJとVS PARKの2つの施設に別れて1日過ごしました。2年生は近隣の施設でバーベキューを行ったり、ボーリングを楽しんだりしました。それぞれ楽しい思い出ができたようです。



12月行事予定

- 1日(金)～7日(木) 2学期期末考査
- 8日(金) マレーシアから高校生交流団来校芸術鑑賞
- 13日(水) 3年ビジネスマナー講習会
- 14日(木) 人権講演会(上富田文化会館)
防災訓練(専2)
- 15日(金) 冬季球技大会
- 16日(土) 正修寮大掃除
- 21日(木) キャリアガイダンス(総2)
- 22日(金) 2学期終業式
- 29日(金)～1月3日(水) 学校業務休業期間

献血学習

11月17日(金)和歌山県赤十字血液センターより講師を迎え、献血学習を行いました。献血は病気の治療や手術などで輸血を必要とされている患者さんのために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアで、16～69歳が可能です。血液は人工的に作ることができず、有効期限が28日と短いため、献血が必要です。和歌山県で1日に必要な献血人数は140人だそうですが、19日の献血コーナーでは一般の方を含め53名にご協力いただき、担当された血液センターの方が感謝の言葉を述べられていました。献血カーを見るたびに今回の献血学習の内容を思い起こし、助け合いの気持ちをもち続けてください。

